

ニッポン ドクター和の 臨終区巻



長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」ことを目指す。平成臨終区巻の連載が『平成臨終区巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

と、稀ながんでもあります。

頸部食道とは、喉ぼとけのすぐ下あたりから胸骨の上まで、5センチほどの部位をいいます。咽頭と繋がっているため、がんの大きさや場所によつては、咽頭ごと切除手術することも多く、術後、声が出せなくなり、嚥下障害を引き起こすなど著しくQOL(生活の質)が下がります。そのため、近年は手術ではなく、抗がん剤と放射線治療を選択する人も増えています。

最初に観た作品は、『EUR EKA ユリイカ』でした。多くの乗客が殺されたバスジャック事件から生き残った人間の生きていく痛みを描いた傑作でした。その後『月の砂漠』『共喰い』など、いくつか作品を拝見しましたが、どれもヒリヒリするような痛みを伴う作品でした。これからも良作を拝見できると思っていたので、こんなに早く旅立たれてしまつとは残念です。

映画監督で作家の青山真治さんが、3月21日に都内の病院で亡くなりました。享年57。死因は頸部(けいぶ)食道がんとの発表です。

青山さんに食道がんが見つかったのは昨年春のこと。手術は行わず、通院で治療を続けていたとい

思い描く素敵な世界へいけるよう

ます。新作映画の準備をされていたようですが、今年に入って体調が悪化し、数週間前から入院をされたとのこと。

我が国で、食道がんと診断されるのは60歳以上の人が7割、男女比は5対1と圧倒的に男性に多いがんです。毎年2万5000人前後の人が食道がんになりますが、頸部食道がんは、食道がん全体のわずか5%



248 映画監督 青山真治

あります。ただちに病院で検査をしてください。

青山さんの妻であり、女優のよた真帆さんは、以下のコメントを発表しています。

△病院から容体が急変したとの連絡を受け駆けつけ、声をかけましたら私の目を見て2回頷き、手をぎゅっと握り返してくれました。それから半日、最後は眠るように静かに息をひきとりました。結婚して20年、優しくて勉強家だった夫にもらった時間、愛情に深く深く感謝しています。今は青山真治の魂が、自身の思い描く素敵な世界にいけるよう強く願っています。

生じる痛みを描き続けた監督の最期が痛くない死に方だったことに、少しだけ安堵(あんど)しました。